

fReactor Photo Flow

フローで光化学を解き明かす

fReactor Photo Flow モジュールは Asynt 社と Leads 大学が共同で開発したもので、科学者に光化学を含むフローケミストリー研究を迅速かつ容易に開発・拡張できる可能性を秘めています。

プラグ&グロー・テクノロジー

fReactor Photo Flow モジュールは単品でも購入可能で、簡単に使用できるプラグ&グロー技術により、セットアップを希望する fReactor の位置に配置されます。一からカスタマイズができる構成で、5つの fReactor CSTR の1つにこのコンパクトなフォトモジュールを1つだけ使用することができます。さらにフォトモジュールを追加して最大5つのポジションに同時に稼働させることもできます。また、オプションのスプリッターリードを使用すれば、1つの電源で5つのフォトモジュールを動かすことができます。



加熱と攪拌は上図 マグネット式ホットプレートスターラーを使用



各 fReactor Photo module は、各 CSTR の上に直接設置できます。

現在、お客様のご要望に合わせて2つの波長をご用意しています。

- ・ 450nm(青)10w LED COB チップ
- ・ 365nm(UV) 10w LED COB チップ

fReactor Photo Flow: 未来へのカギ

fReactor のセットアップをカスタマイズ

- fReactor Photo Flow 光化学反応器は、反応のセットアップを簡単にカスタマイズできるよう、個別販売しています。
- 365nm 以上の高い光束レベルを有しています。ホモジニアスなシステムで高い生産性を発揮する能力を発揮します。
- 異なる反応時間(短い滞留時間から長い滞留時間まで)に対応できること
- 多相流(液/固、気/液)への対応と光化学の融合
最大 55℃まで上げることができます。
- 1 台の電源で、コネクションスプリッターを介して
- 最大 5 台のモジュールを使用できます。
- デザイン・製造はイギリスで行なっています。



fReactor プラットフォームは、Leeds 大学と Asynt 社によって開発され、フローケミストリーの世界への参入を手頃な価格で実現しました。

fReactor は、材料や合成ルートの開発のために、直感的で柔軟なフローリアクターの拡張プラットフォームを提供します。

パイプフロープロセスの効率性と CSTR の高度なミキシングを統合した fReactor は、多相反応に適した一般的な「プラグ&プレイ」のセットアップを提供し、化学者が専門知識をほとんど必要とせずに連続フロープロセスを実験することを可能にします。



オンデマンドウェビナー

「Unlocking Photochemistry in Flow」